ブルネイ・ダルサラーム大学（ブルネイ・ダルサラーム国）

（Universiti Brunei Darussalam）

交流協定締結年月日：2009年11月8日　主管学部：医学部

国際交流の特色（大学紹介）

ブルネイ・ダルサラーム大学（UBD）は、1985年に設立さた総合大学である。学位取得コースは、国民及び外国人に開かれていて、政府による奨学金制度（教科書や交通機関及び宿泊費）が、ブルネイ国民に授与されている。1989年に最初の卒業生を送り出し、現在のツング・リンクのキャンパスは、1995年9月に正式にオープンした。医学部では英語での、Problem Based Learning（PBL）を主体としたチュートリアル中心の基礎教育を3年間行い、その後3－4年は英国、カナダ、オーストラリアの各大学医学部に編入し、臨床教育を受けて医師免許を取得する。2009年には大学間協定が結ばれ、さらに医学部とブルネイ国保健省との国際協力協定が結ばれた。特に医学部では、本学医学部との双方向性の学生交流が積極的に行われ、実績が積まれている。

交流実績（平成24年度～26年度）

受入・派遣＼年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生派遣	9	6	12
研究者・職員派遣	5(2)※	2	12
学生受入	4	13	16
研究者受入	0	1	9

※括弧内は医学部以外の教員

教員からの声

ブルネイ国はアジアでも最も英語能力が優れ、治安が良く、政治的、経済的にも安定したイスラム教王国です。ここでの学習は、国際的な視野を持った医師の教育に適切であり、将来の香川大学との連携を中心にアジアで活躍するリーダーの育成に有用だと考えられます。

UBD医学部では英国式医学教育としてProblem-Based Learningが体験できます。2006年には医学部間協定を結び、香川大学の医学部生のための夏季医学教育コース（4－5週間）に参加開始、2014年度（8期）には8名の学生が参加しました。また同年に香川大学でのWinter ProgramにUBD医学部学生9名が参加、7名が基礎医学実習に参加し双方的な交流が出来ており、更には学部間から大学間協力へと交流が広まっています。

（小児科学講座教授）日下　隆

学生からの声

ブルネイで過ごした5週間は、とても実りの多いものでした。英国式のPBL(問題に基づく学習)により、自身で問題を発見・解決していく手法を学ぶことができただけでなく、それらの学習に基づき、実際に模擬患者を診察するなどといった臨床的な手技を学ぶことができました。

また、留学中の日々の生活をサポートしてくれるバディ達をはじめとするUBDの学生たちとの交流を通して、イスラム教国の文化を体験することができ、友情の幅もとても広がりました。イスラム教徒にとって大切な時期であるラマダンの時期と重なったこともあり、非常に興味深い体験をすることができたと思っています。今回の留学を通して学んだ、課題解決や、チームワーク、そして語学力の重要性など、それぞれを今後も向上させて英国への留学といった新たなステップへと挑戦していこうと思っています。

（医学科4年）　樋渡健悟

ブルネイ・ダルサラーム大学
(Universiti Brunei Darussalam)
ホームページ　http://www.ubd.edu.bn/

●学部学生　約3,000 人
●大学院生　約770 人
●教員　約470人
●留学生　約370人